

平成一〇年度 仏教文化研究所活動報告

〔運営委員会〕

平成一〇年四月七日（火）

平成八・九年度科学研究費（基盤（A）（2））研究成果報告書の提出について「持ち回り」

課題名『中世都市における仏教文化の総合的研究（特に鎌倉を中心として）』

〔運営委員会〕

平成一〇年五月七日（木）午前九時三〇分～午前一〇時三〇分

平成一〇年度科学研究費（基盤研究（A））交付申請について

課題名『中世都市・鎌倉における寺院跡墳墓及び仏教遺物の総合的研究』

〔研究会〕

平成一〇年五月一四日（木）午後四時三〇分～

第一回研究会

研究題「曹洞宗宗学の現状」

発表者 高崎直道所長

概要「一 宗学とは何か―仏教学との比較。 二 駒沢大学を中心とした近代曹洞宗学の伝統と課題。 三 近年における「批判宗学」の動きと再批判。 四 本研究所の研究課題としての瑩山禅師と總持寺教団の成立史の

研究。」

〔仏教文化研究所竣工〕

平成一〇年五月二一日（木）午前八時三〇分～

竣工法要

六号館二階 仏教文化研究所所長室、共同研究室 三階 講堂等 完成

〔公開講演会〕

平成一〇年六月六日（土）午後二時〇〇分～午後五時〇〇分

鶴見大学会館メインホール

公開講演会・文化財学科と協賛（参加者 約一八〇人）

講演題「歴史学と文化財」 講師 石井 進氏

講演内容は紀要第四号に掲載

講演題「創造の現場―日本考古学の展開と展望」 講師 大塚初重氏

「本学所蔵古文書展」 図書館一階エントランスホール

（平成一〇年六月一日（月）～六月一二日（金））

〔研究会〕

平成一〇年七月三〇日（木）午後四時三〇分～

第二回研究会

研究題「叡尊と忍性の倫理観について」

発表者 関根 透主任

概要

「叡尊と忍性を中心にして真言律宗の医の倫理観について説明した。まず叡尊と忍性の倫理的実践の発露をなした『文殊経』の一部分を示し、叡尊については『感身学正記』『教誠聴聞集』などから、忍性については『忍性行状記』『元亨釈書』『聖愚問答』などから医の倫理観を述べた。更に、二人の影響を受けた梶原性全については『頓医抄』を説明し、医の倫理の根本は慈悲心にあるとして三人の救済の精神を医の倫理の実践として説明した。」

〔研究旅行〕

平成一〇年八月六日（木）～八月八日（土）

東大寺図書館、東大寺大仏殿、西大寺

納富常天所員

〔運営委員会〕

平成一〇年八月一九日（水）午後五時三〇分～

科学研究費補助金による調査研究日程の最終打合せ

〔研究旅行〕

平成一〇年八月二八日（金）

鎌倉国宝館、雪ノ下発掘現場、浄明寺一丁目発掘現場、

高崎直道所長、納富常天所員、大三輪龍彦所員、河野眞知郎所員、関根透主任、小林恭治所員、石田千尋所員、

尾崎正善所員

〔研究旅行〕

平成一〇年八月三〇日（日）～九月一日（火）

建仁寺、高台寺、道元茶毘塚、知恩院（白毫寺跡）、興聖寺、宇治川浮島十三重塔、平等院（発掘現場）、橘寺、万福寺、鉄眼版木、東福寺、泉涌寺

高崎直道所長、納富常天所員、大三輪龍彦所員、永田勝久所員、関根透主任、小林恭治所員、石田千尋所員、尾崎正善所員

〔学会協力〕

平成一〇年九月五日（土）～九月六日（日）

日本印度学仏教学会 第四九回学術大会 於 鶴見大学本館ほか

〔研究旅行〕

平成一〇年一〇月一〇日（土）

神奈川県立博物館（越前朝倉氏・一乗谷関係資料）

納富常天所員、関根透主任

〔研究旅行〕

平成一〇年一〇月一九日（月）

清浄光寺（遊行寺）

高崎直道所長、納富常天所員、関根透主任、小林恭治所員、尾崎正善所員

〔研究会〕平成一〇年一〇月二九日（木）午後四時三〇分～

第三回研究会

研究題 「日本国総守護職の成立 ―頼朝の時代―」

発表者 関 幸彦文化財学科教授

概要

「日本における封建制の論議を武家政権の認識のされ方から考え併せて、中世という時代の特質について言及した。そこに中世（武家政権）の理解のされ方という点で委任封建制への視点と非委任封建制という二つの旋律があり、頼朝の総守護職の問題を解明する材料となることを発表した。」

〔運営委員会〕

平成一〇年一〇月二十九日（木）午後五時三〇分

平成一一年度予算について、平成一〇年度の図書について

科研費一月出張の打合せと今後の予定等

〔研究旅行〕

平成一〇年一月三日（日）

神奈川県立金沢文庫 称名寺

納富常天所員

〔研究旅行〕

平成一〇年一月二〇日（金）～一月二二日（日）

元興寺極楽坊、薬師寺、額安寺、法華寺、竹林寺、海住山寺、円成寺、西大寺

納富常天所員、河野眞知郎所員、関根透主任、小林恭治所員、石田千尋所員、尾崎正善所員、矢島道彦所員

〔運営委員会〕

平成一〇年一月二六日（木）午後四時三〇分～

仏教教育研究の検討

高崎直道所長、納富常天所員、尾崎正善所員、中田直道所員、矢島道彦所員、関根透主任

〔運営委員会〕

平成一〇年一月二七日（木）午後四時三〇分～

書面にて了承

平成一一年度 事業計画及び予算について

〔研究旅行〕

平成一〇年一月二四日（木）～一月二五日（金）

五條天神宮

関根透主任

〔研究旅行〕

平成一〇年一月二四日（木）～一月二六日（土）

石清水八幡宮、善法律寺、長楽寺

納富常天所員

〔研究旅行〕

平成一一年一月一五日(金)～一月一七日(日)

奈良 不退寺、般若寺、法華寺、浄瑠璃寺、岩船寺ほか

関根透主任、納富常天所員、河野眞知郎所員、小林恭治所員

〔研究旅行〕

平成一一年一月二五日(月)

大乘寺、浄住寺、枚生寺

高崎直道所長

〔研究旅行〕

平成一一年一月三〇日(土)～一月三一日(日)

泉橋寺、白毫寺

納富常天所員

〔研究旅行〕

平成一一年二月一六日(火)～二月一八日(木)

蓮華院誕生寺、観世音寺

小林恭治所員

〔研究会〕

平成一一年二月一八日(木)午後六時〇〇分～午後七時〇〇分

第四回研究会

於 鎌倉「わかみや」にて

研究題 『慧日山東福禪寺行令規法』について』

発表者 尾崎正善所員

概要

「東福寺の年中行事及び規矩を定めた『慧日山東福禪寺行令規法』（文保二年（一三一八）成立）を紹介し、本書の清規史上における位置づけ・内容の特徴について論及した。特にその内容には、それ以前の清規にない特徴及び後代の清規へのえいきょうを多数確認することができた。

〔研究旅行〕

平成一一年二月一八日（木）～二月一九日（金）

鎌倉市内寺院巡り、寿福寺、海蔵寺、石御門やぐら群など

高崎直道所長、納富常天所員、関根透主任、大三輪龍彦所員、永田勝久所員、石田千尋所員、

尾崎正善所員、矢島道彦所員

〔研究旅行〕

平成一一年二月二二日（月）～二月二三日（火）

天竜寺、臨川寺、鹿王院、西芳寺、等持寺、真如寺

尾崎正善所員

〔研究旅行〕

平成一一年二月二六日（金）～二月二八日（日）

誓願寺、東妙寺、妙法寺、聖福寺

納富常天所員

〔研究旅行〕

平成一一年二月二六日（金）～二月二八日（日）

長崎県立長崎図書館

石田千尋所員

〔研究旅行〕

平成一一年二月二八日（日）～三月二日（火）

京都大学図書館、京都国立博物館、比叡山延暦寺

関根透主任

〔研究旅行〕

平成一一年二月二八日（日）～三月二日（火）

泉涌寺、開山塔および世代墓地の調査

大三輪龍彦所員

研究所概要

〔所在地〕 〒二三〇—八五〇一 横浜市鶴見区鶴見二—一—三 鶴見大学内

TEL 〇四五—五八一—一〇〇一

FAX 〇四五—五七四—〇二二五

(担当事務部：文学部・事務部庶務課)

〔所長〕 高崎直道 鶴見大学学長(印度哲学)

〔主任〕 関根透 歯学部教授(倫理学)

〔所員〕 納富常天 鶴見大学副学長(宗教学)

大三輪龍彦 文学部教授(日本史)

永田勝久 文学部教授(化学)

河野真知郎 文学部教授(文化人類学・考古学)

石田千尋 文学部教授(美術史)

小林恭治 文学部助教授(日本語)

尾崎正善 文学部講師(宗教学)

中田直道 短期大学部教授(哲学)

矢島道彦 短期大学部助教授(宗教学)

〔顧問〕 中村 元 鶴見大学顧問教授（東方学院院長、学士院会員、東京大学名誉教授）

鶴見大学仏教文化研究所規程

(設置)

第一条 鶴見大学に、鶴見大学仏教文化研究所（以下「研究所」という。）を置く。

(目的)

第二条 研究所は、鶴見大学の建学の精神に則り、日本における仏教文化を中心に、広く仏教と文化に関する研究を推進し、学術の発展に寄与することを目的とする。

(研究内容等)

第三条 研究所は、前条の目的を達成するために次のことを行なう。

- 一 宗教学等の教授内容としての諸宗教の比較、仏教教理、曹洞宗学（特に總持寺教学）及び日本文化に及ぼした仏教の研究などの基本的研究
- 二 鶴見大学及び鶴見大学短期大学部における建学の精神の具現化及びその方法等の研究
- 三 鶴見大学大学院文学研究科との共同研究及び他の研究機関との学際的研究
- 四 研究会、講演会及び公開講座等の開催
- 五 所員の調査及び研究の成果並びに共同研究の成果、講演等の発表のための紀要類の刊行
- 六 その他研究所の目的を達成するために必要と認める研究等

(研究部門)

第四条 研究所に、次の2研究部門を置く。

一 仏教学研究部門

二 仏教教育研究部門

(所長)

第五条 研究所の所長は、鶴見大学学長の併任とする。

(所員)

第六条 研究所の教員は、専任のほか、鶴見大学及び鶴見大学女子短期大学部の専任教員の中から所長が委嘱する。

二 研究所の職員（教員を除く。以下この項において同じ。）は、専任のほか、鶴見大学の専任の職員の中から所長が委嘱する。

(研究員)

第七条 研究員は、鶴見大学及び鶴見大学女子短期大学部の専任教員以外の者から、所長が委嘱する。

二 研究員の任期は一年とし、更新することができる。

(顧問)

第八条 研究所に、必要な助言を与え事業の円滑な運営を図るため、若干人の顧問を置く。

(運営委員会)

第九条 研究所に、第三条に定める研究内容等の企画、運営のため、運営委員会を置く。

二 運営委員会は、所長及び所長が委嘱する運営委員をもって構成する。

三 運営委員の任期は二年とし、更新することができる。

(経費)

第一〇条 研究所の経費は、鶴見大学の年間研究費予算その他をもってこれに充てる。

(規程の改廃)

第十一条 この規程の改廃は、運営委員会の議を経て、行なうものとする。

附 則

この規程は、平成七年四月一日から施行する。

仏教文化研究所平成九年度購入資料一覽

- | | | | |
|-----|---------------|----------------|-----------------|
| 一、 | 鎌倉市文化財総合目録 | 同朋舎 | 全四冊 |
| 二、 | 景德傳燈録 | 大燈国師真筆景德傳燈録刊行会 | 全三十冊 |
| 三、 | 国文東方仏教叢書 | 名著普及会 | 第一輯十卷、第二輯八卷 |
| 四、 | 国訳禅宗叢書 | 第一書房 | 第一輯十二卷、第二輯十卷 |
| 五、 | 真宗大系 | 図書刊行会 | 第二十一—二十二卷 |
| 六、 | 新編武蔵風土記稿 | 雄山閣 | 全十二卷、索引編 |
| 七、 | 禅学大辞典 | 大修館書店 | 全三卷 |
| 八、 | 總持禅寺開山以来住持之次第 | | 全二十五冊 |
| 九、 | 大正新脩大蔵経索引 | 大蔵出版 | 全四十五卷五十冊 |
| 十、 | 大蔵経講座 | 名著出版 | 全二十四卷 |
| 十一、 | 天台宗全書 | 第一書房 | 全二十五卷、解説 |
| 十二、 | 伝経大師全集 | 世界聖典刊行協会 | 索引 |
| 十三、 | 道元思想体系 | 同朋舎 | 全二十二卷 |
| 十四、 | 仏書解説大辞典 | 大東出版社 | 全十三卷、別卷、著者別書名目録 |
| 十五、 | 続豊山全書 | 続豊山全書刊行会 | 全二十卷、解題 |

十六、 正統藏經

新文豊出版

全百五十冊、総目録

十七、 密教大系

宝蔵館

全十二卷

十八、 望月仏教大辞典

世界聖典刊行協会

全十卷

十九、 阿弥陀如来座像

二十、 觀自在菩薩如意輪瑜伽

二十一、 宗鏡録 卷第四十九

二十二、 大本山総持寺絵はがき

二十三、 仏説毘奈耶經